

監事 就任のご挨拶



沖縄県医師会 監事 伊志嶺 朝成

今年度より沖縄県医師会の監事を拝命いたしました社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院の伊志嶺朝成と申します。平素より会員の諸先生方におかれましては、多大なるご厚情とご指導を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨今の医療界は大きな変革期にあります。とりわけ多くの有人離島を抱える島嶼県である本県においては、中南部への医師偏在と離島・北部地域の深刻な医師不足、かつて全国一を誇った「健康長寿」の危機など、特有の課題に直面しております。さらに本格始動した医師の働き方改革に伴い、中核病院での高度急性期医療やドクターヘリによる広域搬送体制を維持しつつ、離島等への医師派遣をどう継続させるかという、本県ならではの極めて困難な両立を迫られています。このような激動の時代に監事という重責を担うこととなり、身の引き締まる思いでございます。

私はこれまで消化器外科、とりわけ肝胆膵外科を専門とし、現在は病院長として、地域に求

められる「高度急性期医療」や「がん診療」を安定的かつ継続的に提供できるよう病院運営に尽力しております。並行して院内の医療安全管理にも10年余り深く携わってまいりました。

今回、会務や財務の執行状況を監査する監事の職務は、私が医療安全で培ってきた「客観的かつ多角的な視点でリスクを未然に防ぎ、組織の健全性を守りサポートする」という姿勢に通じるものがあると考えております。変化の激しい時代だからこそ、強固なガバナンスと透明性の高い組織運営が不可欠です。一病院での経験ではございますが、この視点が県医師会の適正な運営を裏から支える力となればと願っております。

沖縄県の地域医療のさらなる発展と、県民の皆様様の命を守る医師会の活動を、公正かつ中立的な立場からしっかりとお支えできるよう誠心誠意努めてまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

